

研修マナーを向上させましょう！



研修センターが開所してから1年が過ぎました。この1年間、多くの方に当センターの研修を受講していただき大変うれしく思います。しかし、残念なことに受講者の中にマナーの面で気になる方が何名かいらっしゃいました。ここに挙げているのは、実際に研修にお越しいただいた方の中で見られた事例です。

この機会に是非研修マナーをもう一度見直していただいて、講師に対しても、一緒に受講されている仲間に対しても、お互い気持ちよく研修に参加できるよう、ご協力をお願いします。

研修会場での困ったさん



研修中に携帯電話が鳴る。

研修の冒頭をお願いしていますが、携帯電話が鳴る事があります。必ずマナーモードに設定をお願いします。特に研修に遅れてきた方の携帯電話が鳴る事が多いです。

研修中に携帯電話に出てしまう。

本来なら講義中は電話にでるのも控えていただきたいところですが、私たちの仕事は命に関わる場面もあるので、絶対に出てはいけないとは考えていません。ただ、電話にでる場合は、静かに教室の外へ出るようにお願いします。今回のケースでは、講義が続いている教室の中で、電話にでられていました。

講義中におしゃべりをしている。

研修アンケートでご指摘がありました。当日会場にいた担当者は気が付いていなかったのですが、近くで受講された方はさぞ不愉快だったと思います。受講者同士だと注意しづらい時もあると思いますので、そうした場合は、会場にいる担当者へお知らせください。

休憩時間にお客様の話題で盛り上がる。

研修で同じ職場や法人の方と会ったり、ケアチームの担当者がいた場合も、周りに配慮しないお客様に関わる情報交換は控えましょう。個人情報の保護は厳守です。

休憩時間に帰ってしまう。

緊急対応などで、研修途中で事業所へもどらなければいけない時もあると思います。そうした時は必ず会場の研修担当者へ一言かけてから退室されますようお願いいたします。

研修終了の1時間前に来る。

講師は全体を通じてテーマの内容を伝えようとしています。研修を活かすためにも遅刻等無いようにお願いします。本年度は、30分以上の遅刻は受講証明の発行ができませんのでご了承ください。

無断で講義を録音している。

勉強熱心なのはとても良いことですが、講師の中には、講師活動を本業にしている方もいます。当センターの研修は基本的に録音や撮影はお断りしていますのでご了承ください。

技術系の研修で下着が見えるような格好で参加している。

研修の内容に配慮した服装でのご参加をお願いします。技術演習でのスカートやズボンの腰ばきは下着が見えてしまい周りの受講者の集中力に影響を及ぼします。



9月以降も多くの研修を企画しています。マナーを守って、受講されるみなさま全員が気持ちよく研修に参加できるようにご協力をお願いします。日頃大切にしている『相手を思いやる気持ち』を研修でもお忘れなくお願いします。



研修・コースアップ



下記の研修は、9月10日から申し込みが開始されます。
お早目のお申し込みをお勧めします。



10月4日 (月)

訪問介護分科会リクエスト研修
介護技術 ~移乗移動~ (居宅編)
長尾洋江氏

昨年実施してとても好評だった長尾先生の介護技術研修を今年も実施します。移乗移動の基本を復習した後、利用者・介護者共に無理がなく、介護をしているご家族にも納得していただけるような移乗移動を、参加者全員で考え作り出す研修です。午前・午後で同じ研修を実施しますので、ご都合のよい時間帯を選び受講してください。

訪問介護事業所で働いている皆さんにお勧めの研修です。

10月12日 (火)

新型インフルエンザの発生と対応
大木裕子氏 (練馬区保健予防課)
昨年流行が危惧された新型インフルエンザの今年度の動向と、流行時の対応方法について学びます。

感染症の対策は、正しい知識と正しい予防方法が必要です。また、発生時は冷静に対応し、いかに感染拡大を抑えるかが重要なポイントになります。

乾燥してくる季節の前に、早め早めに対応をしていきましょう。

季節型インフルエンザについても触れます。



10月22日 (金)

コンプライアンス
北沢武宏氏 (練馬区介護保険課)
管理者・責任者向けにコンプライアンス (法令遵守) について研修します。

コンプライアンスに対する意識を高めるとともに、ついつい見落としがちな法令違反 (違反スレスレ) 事項について確認します。

各事業に共通する事項を中心に、実地指導で見られるポイントについても説明します。

自事業所の運営管理体制を確認するきっかけにお役立て下さい。

研修のお申込開始日は、前月の10日からです。

各研修は、研修日の前日まで、システムからお申込みいただくことができます。

研修のキャンセルはシステム上、3日前までです。その後の変更はお電話でお願いします。

バーンアウトしないために



メンタルヘルス相談受付時間

電話相談 平日 9:00~21:00

土日 10:00~18:00

健康相談は365日24時間対応!

カウンセリング相談 (予約制)

年間5回まで無料で受けられます。

全国155カ所で受けられます。

都内22カ所。光が丘でも受けられます。

メール相談 24時間対応

回答は、翌2営業日以内

この事業は、「保健同人社」に委託しています。
ご自身が望まない限り、ここでの相談内容が、
ご自分の勤務する職場に知られることはありません。

開所記念講演会と交流会のご報告

7月15日にケアタウン小平クリニック院長の山崎章郎 (やまざきふみお) 先生をお招きして講演会を開催しました。

誰もが安心して暮らせるケアの街『ケアタウン小平』が提供する「コミュニティ・ケア」の理念と実践をご紹介していただき、とても感慨深いお話を聞くことができました。当日は、209名の方にご参加いただきました。

また、同日18:30から練馬区介護サービス事業者連絡協議会と練馬ケアマネジャー連絡会、研修センターが発起人となり実施した交流会では、113名の方にご参加いただき、こちらも大いに盛り上がりました。

「にやりほっと」が増えるために

管理者向けのメンタルヘルスの研修を9月15日(水)に予定しています。(8月10日より申し込み開始です。)

ご講義いただくのは、昨年に引き続き講習のわかりやすさ、楽しさで定評のある大谷裕先生にお願いしています。

また、1月24日メンタルヘルス事例検討研修の実施も決定しました。事例を通じて、より現場で活用できる内容満載です。

働きやすい職場づくりを一緒に考えていきましょう。



詳しい情報は...

練馬介護人材育成・研修センターの情報は、ホームページで確認することができます。研修の情報など、随時更新しております。

<http://www.nerima-swf.jp/training/index.html>

ここからただの健康相談のサイトの入り口もこちらにあります。

メールでのご意見・お問い合わせもお待ちしています。
kensyu-center@nerima-swf.jp

社会福祉法人 練馬区社会福祉事業団
練馬介護人材育成・研修センター

この通信は
毎月15日
発行です。
この通信へのご意見を
ぜひお寄せください。

